



**埼玉県川越市 特別養護老人ホーム
川越キングス・ガーデン
台風19号による水害報告 (2019.10.12~13)**

キングス・ガーデン埼玉 法人施設概要

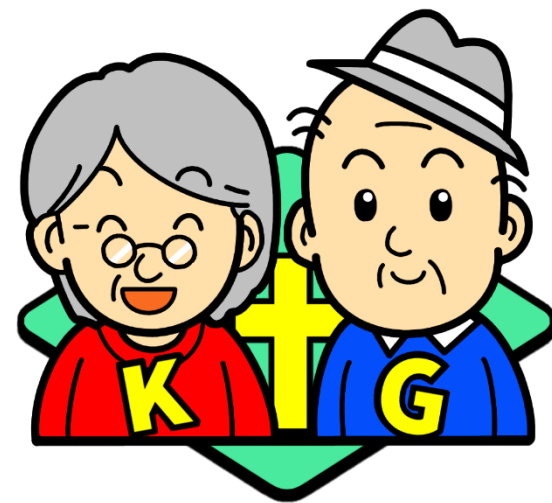
- 1990年 8月10日 キングス・ガーデン埼玉 法人認可
- 1991年 5月20日 特別養護老人ホーム 川越キングス・ガーデン開設
- 1995年10月20日 軽費老人ホーム ケアハウス「主の園」開設
- 2003年 5月21日 特別養護老人ホーム 草加キングス・ガーデン開設
軽費老人ホーム ケアハウス草加キングス・ガーデン開設
- 2008年 4月 1日 特別養護老人ホーム 川口キングス・ガーデン開設

川越キングス・ガーデン 事業概要

- 介護老人福祉施設 80床 従来型多床室
- 短期入所生活介護 20床
- 通所介護 25名/日 月～金曜日
- 訪問介護
- 居宅介護支援
- 川越市地域包括支援センター「きた」
- 生計困難者相談支援事業



旧川越キングス・ガーデン、
被災前の様子



旧川越キングス・ガーデン、被災前の様子



2019年10月12日、「50年に一度」といわれる規模の、大きく強い台風19号が関東を直撃。

川越キングス・ガーデン：

入所者**79**名, ショート**21**名, 職員**24**名, 合計**124**名

ケアハウス「主の園」：

入居者**78**名, 家族**1**名, 職員**3**名, 合計**82**名

の人達が不安な夜を過ごしていた。

台風は12日の21時頃に埼玉県南部を通過したが、秩父の山々に降った大量の雨が、時間を追って流れ下り、ついに近くを流れる越辺川の堤防が越水により決壊した。

川越キングス・ガーデン特養では、10月12日(土)台風19号に備え、午前中から対策準備を行った。

- ①職員の人員確保(通常より19名多い夜間体制確保)
- ②公用車・私有車の移動
(16:30までにはほぼ移動完了 自治会駐車場・近隣建設会社駐車場)
- ③避難用物品の確認・準備(カート等に乗せて移動し易く)
介護用品、医療品、食品、事務機器、書類など
- ④水の確保(停電に備え、手洗い用、飲み水200ℓタンク等)
- ⑤避難棟へ移動したときのベッドの位置や移動に際してのイメージを各部署出勤者に周知

10月12日（土）17:00頃玄関前の様子



夕方から垂直避難までの対応①

- ・夕食前には、正面玄関の階段5段目以上に水位が上昇していたが、雨量が少なくなってきたことと天気予報で台風の通過時間などを考慮して、このまま垂直避難の移動はしないで様子観察することにした。
- ・職員は垂直移動の指示に備えて、それぞれがアイデアを出し合い準備した。
例) ・食堂テーブルのロックをOFFにし、直ぐ移動できるようにした。
・重度の方は夕食後の排泄ケア後、事前に避難棟にベッドごと移動しておく。(見守りは夜勤以外の宿泊職員)

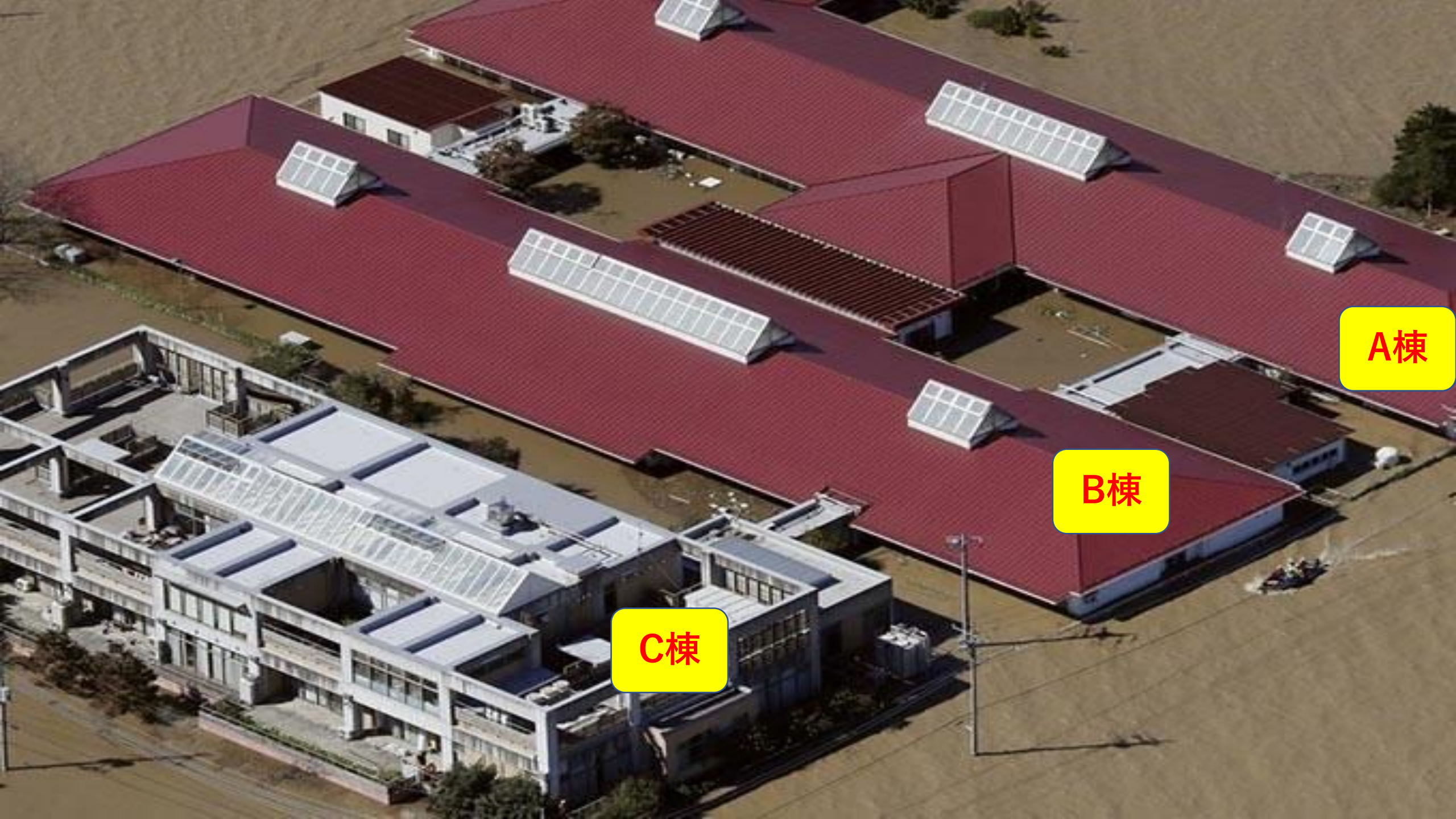
10月12日（土）19:00頃

玄関前の10段の階段が目安に



当時、被災施設にいた方
入所者79名,短期入所21名,職員24名=124名





A棟

B棟

C棟

夕方から垂直避難までの対応②

- 正面玄関階段の水位上昇時間が次第に遅くなって来ていることと、台風は22時頃には過ぎ去りそうな予報を確認し、**垂直避難は見送る**ことにした。
- 0時過ぎに、**夜勤者以外は休養**を取るよう指示をする。
- 副施設長は、「**念のため正面玄関で30分おきに水位を確認します**」とソファを玄関先に置き30分おきに確認をする。

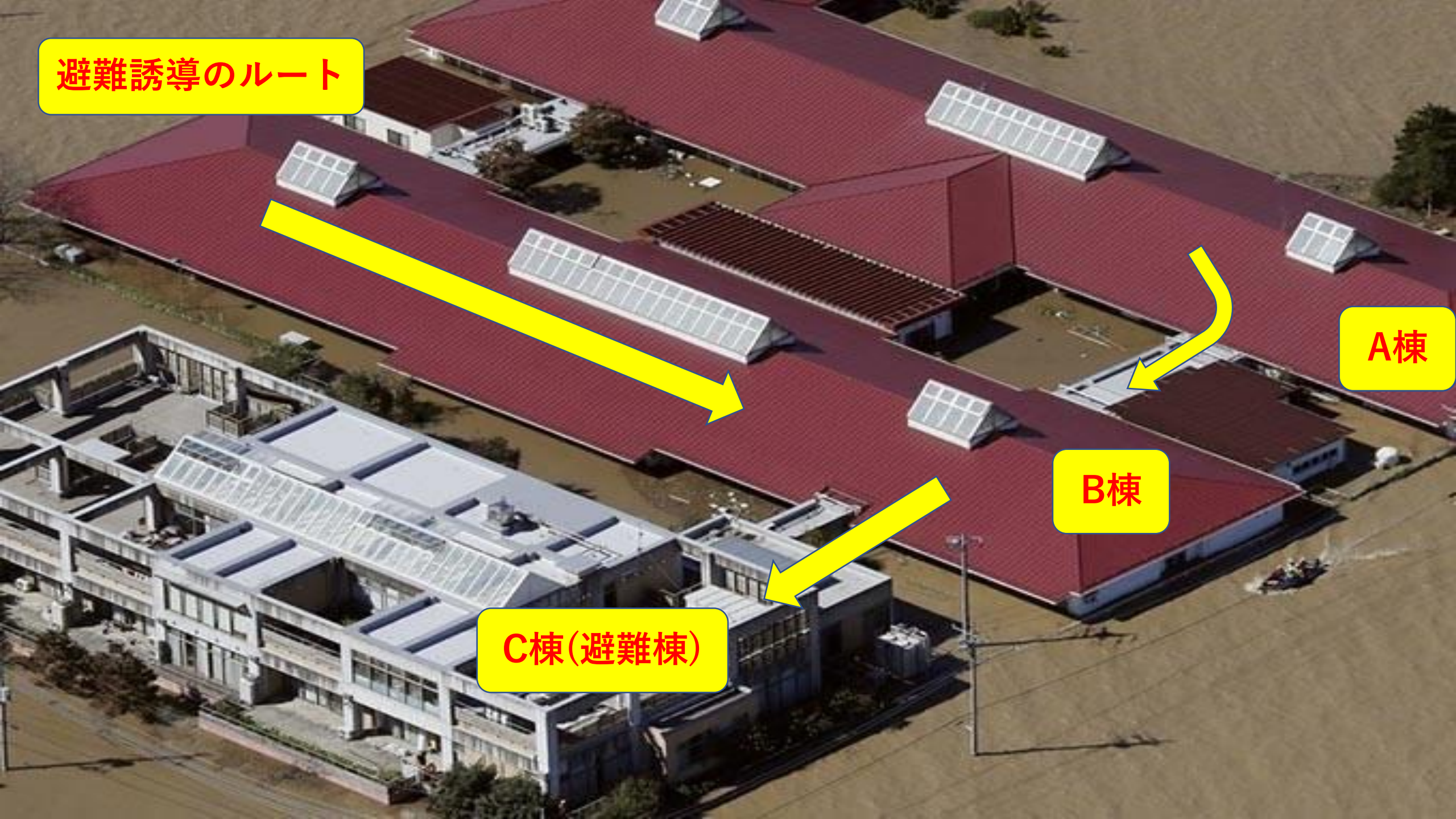
10月13日(日) AM1:30床上浸水してきた玄関

12日(土)22時すぎに。台風は過ぎ去り、一時は安堵したが、玄関先で水位の上昇を見守っていた、副施設長がこれまでにない水位の上昇を確認。玄関の車寄せ迄水位が上昇してきていた。

急遽、13日(日)1:30全員を避難棟(C棟)に垂直避難開始した。



避難誘導のルート



A棟

B棟

C棟(避難棟)

夜間の様子

《入所者・利用者の様子》

- ・ 非常事態と感じていた為か、皆さんおとなしく、普段、大きな声を出す方も静かに過ごしていた。
- ・ 水を見て「海のようにね」と話す方がいた。側にいた職員が不安をまぎらわす様に唱歌の「海」を歌い始め、近くの方と一緒に色々な歌や会話、ゲーム等して過ごす。
- ・ 13日4時、じわじわと水位上昇が続き、避難棟(C棟)1階の床上に来る可能性が出てきた為、全員を2階へ階段を抱えて移動した。2階はすし詰め状態で、次第にお年寄りもストレスが出てきた状態を感じる。

夜間の様子

《職員の様子》

- ・ 入所者・利用者を避難棟(C棟)へ垂直避難した後は、少しホッとした様子でしたが、お年寄りを安心させようとする気持ちとこれから何が起こるのかという不安とが交錯した様子。
- ・ 4時頃より避難棟1階の方を全員2階へ避難となり、階段を抱え上がることは重労働だったが、必死に協力し合っていた。
- ・ 川越市役所と避難救助についての相談。このまま124人が2階のスペースでいることは困難。救助とともに、受け入れ施設を探してほしい旨を依頼する。



翌13日、避難棟居室から見た朝焼け



翌朝の様子

《入所者・利用者の様子》

- 皆、疲れ切った様子でぐったりしていた。
- 次第に口論したり、大声を出す元気もなくなってきた。

《職員の様子》

- 川越市と、避難救助して頂く方向になり、これから救助に合わせて、今度は入所者を全員1階に降ろさなければならぬということ職員に指示。
- この頃、浸水の上昇が止まった。床下3cmであった。
- 入所者の排泄ケアや水分補給、朝食の介助。
職員も朝食を摂った。



医 務 室



特養B棟廊下

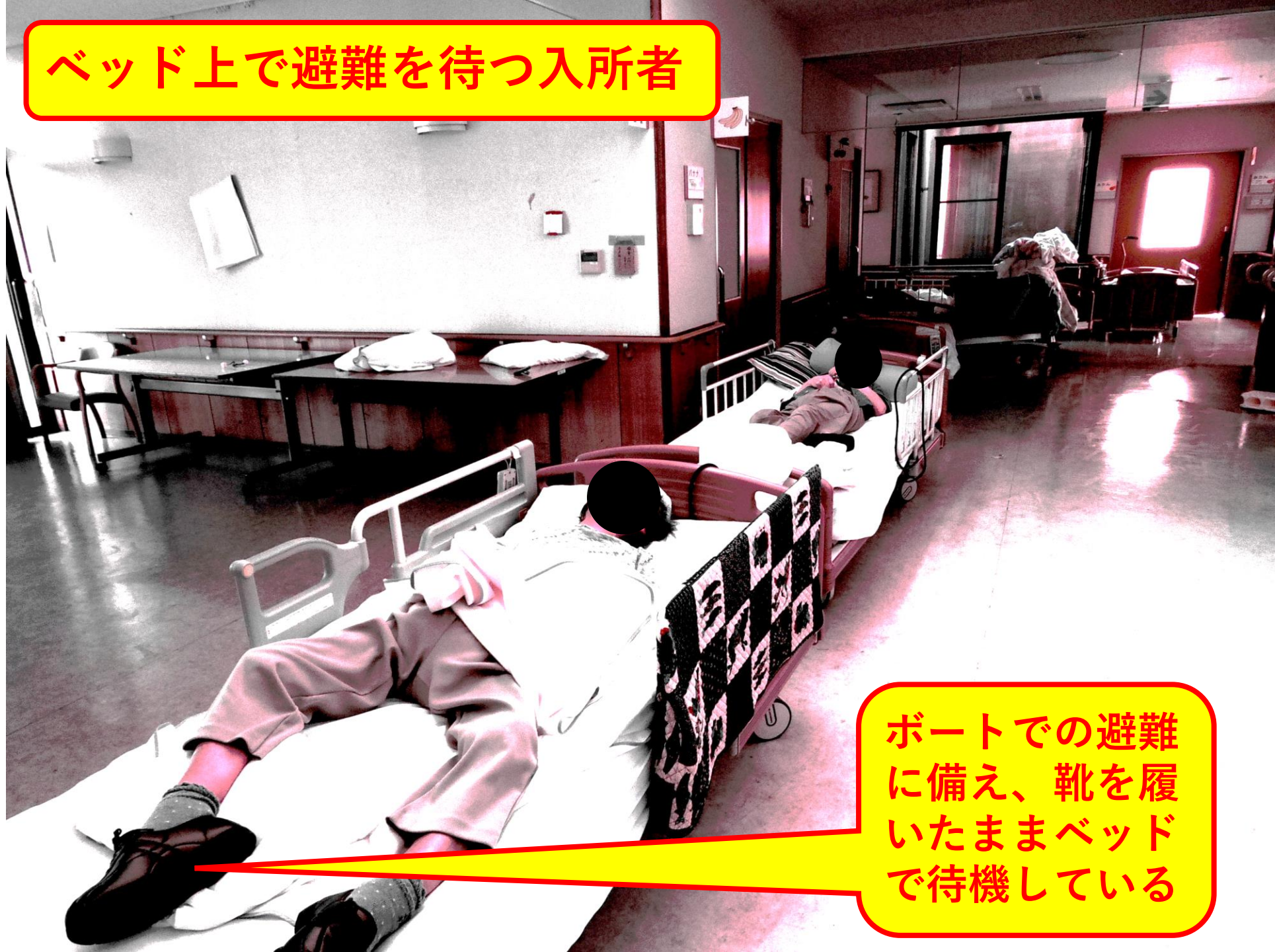
平塚橋上で救助のための準備をする川越消防隊員



避難棟で救助の順番を待つ入所者



ベッド上で避難を待つ入所者



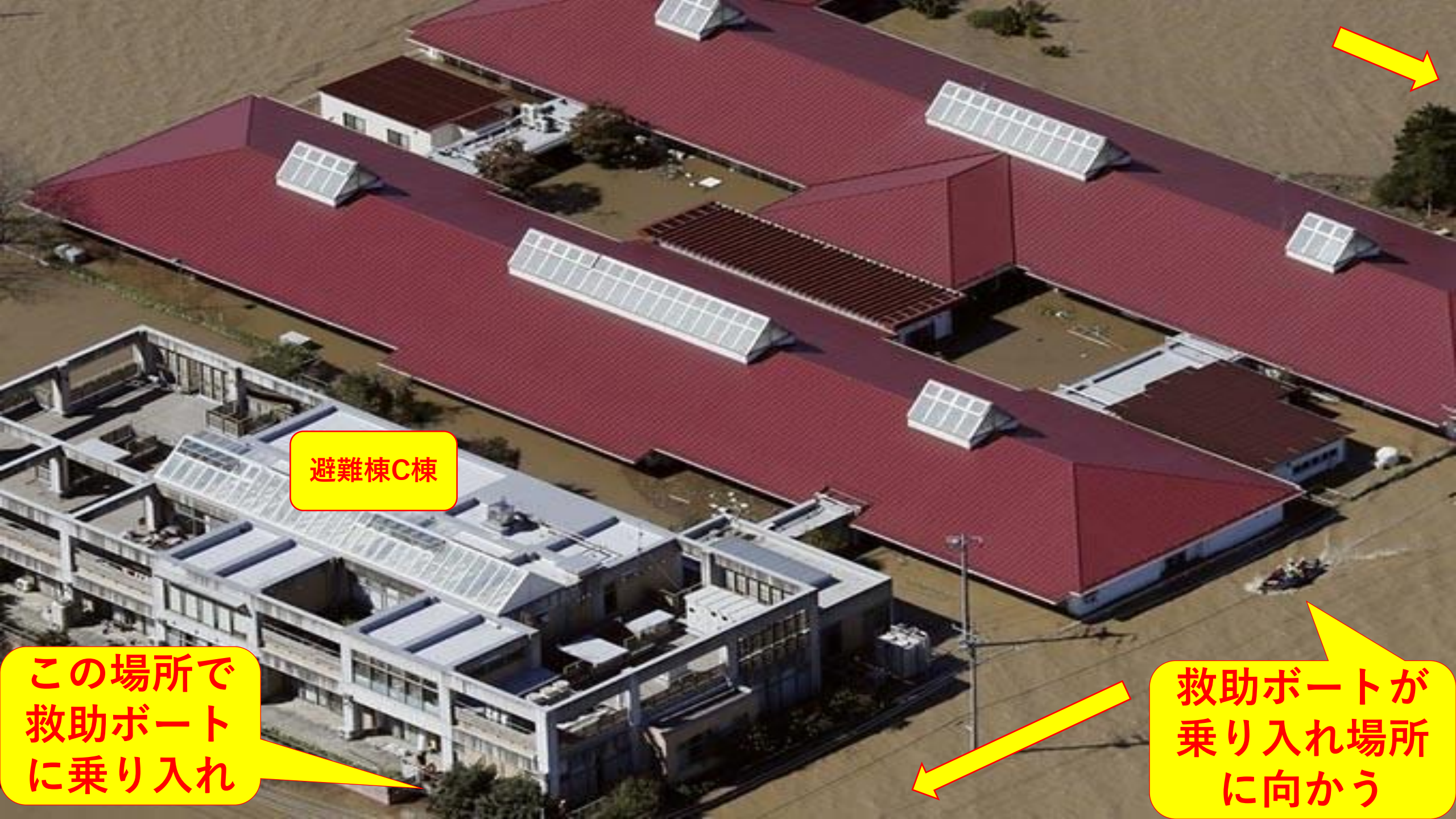
ボートでの避難
に備え、靴を履
いたままベッド
で待機している

避難救助するにあたっての課題点①

- ・ 救助ボートの乗り入れをどこから行うのか。
乗り入れ時の危険。
- ・ 人の救助と、物(車椅子・ベッドマット・ミキサー食)の運搬について。
- ・ ボート1艘で移動できるお年寄りの人数。
→1~2人救助に相当の時間がかかる…。

その時！

- ・ ベッドマットを先に運んでもらうことが出来ないため、苦慮しているところに、『**アムスハウス社**』の**長瀬ラフティングクラブ**の**従業員5名**と**民間山岳救助員2名**の**計7名**の方がボートを持参し、「なんでも運びますよ！」と助けてくれた。ベッドマットや車いすや、最終的には**12名**もの人を救助してくれた。 **(民間救助ボランティア)**



避難棟C棟

この場所で
救助ボート
に乗り入れ

救助ボートが
乗り入れ場所
に向かう



ボートに乗り移動中





間もなく陸地。キングス・ガーデンの公用車と職員の車は水没…

陸地には救助隊員と職員が待機している





ボートで救助後、避難所の
下広谷小学校の体育館へ移動

当日、休みの職員も駆けつけ、救助後の支援を行う



避難所に移動した入所者等は、夕方までにショートステイの方は他事業所や帰宅した。特養の入所者は、川越市内外の17施設に受入れて頂き、79名は分散して移動。(同法人の草加KGに特養の入所者5名、川口KGには10名のケアハウスの入居者の避難を受け入れて頂く)



どうして、一人の怪我人もなく救助できたのか？

- ①これまで、毎年のように台風で正面玄関3段くらいまで水が出ていたため、**実地訓練**になっていた。
- ②当日夜間の**人員確保**ができた。
- ③**避難イメージ**を共有し、宿泊職員の気持ちが一つになり、そこに向けてそれぞれのアイデアや行動がされた。
- ④川越市と夜間中、**携帯電話でつながっていた**。
- ⑤川越市が入所者**受け入れ施設の依頼**を事前に連絡してくれた。(当日は、日曜日でした)
- ⑥職員が一致団結していた。

水害後後の対策本部経過 その①

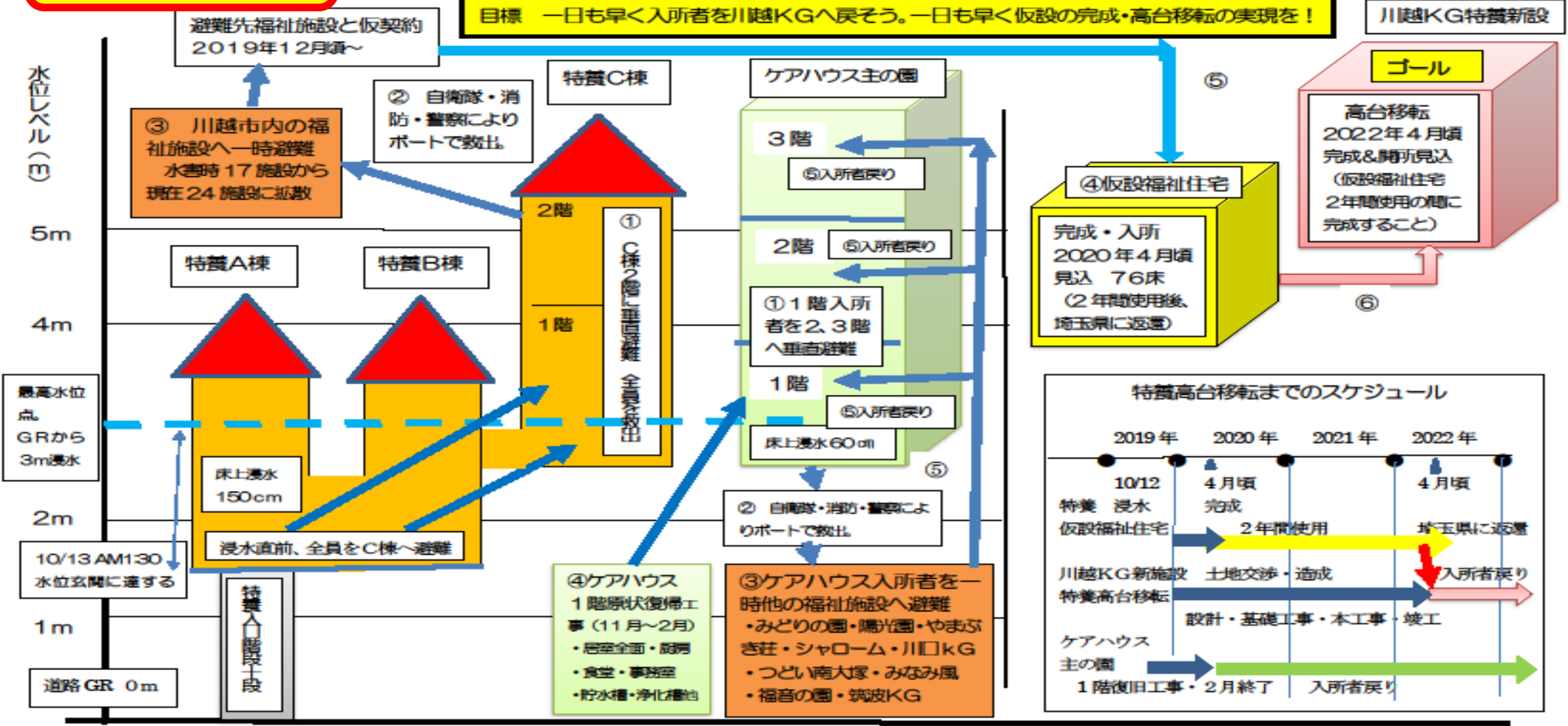
- ①法人の理事、評議員の中から**災害対策本部**を立ちあげ、今後の様々な復旧対策について会議を重ね、対策・実行した。理事会からも災害対策本部の決裁権も承認して頂き、物品の購入等が容易になった。
- ②被災施設復旧のため、被災ゴミの撤去や清掃のために、業者依頼とボランティアさんの協力を頂く。
- ③入所者受入れ施設にはキングス・ガーデンの介護職員を派遣した。

水害後の対策対策本部経過 その②

- ④今後の施設再開に向けた大きな方針。
 - 特養：高台への移転復旧を目指す。
 - ケアハウス：被災施設を復旧し、再開を目指す。
- ⑤特養：川越市長に要望書を提出(2019年11月5日)
移転復旧及び福祉仮設住宅の設置
- ⑥ケアハウス：復旧のための業者選定と工事依頼。
- ⑦その後、川越市、埼玉県、厚生労働省等に足を運び、移転復旧と福祉仮設住宅の建設を依頼し続ける。

目標の共有

目標 一日も早く入所者を川越KGへ戻そう。一日も早く仮設の完成・高台移転の実現を！



川越KG入所者施設変遷図(特養・ケアハウス水害→他の福祉施設へ避難→仮設福祉住宅に移住→特養高台新設完成後移住) 川越KG災害対策本部 2019.12.20



移転予定施設のパーズ

完成した新施設の正面玄関



完成した新施設の空撮と正面玄関





旧施設の解体工事が始まる（B棟食堂ホール）

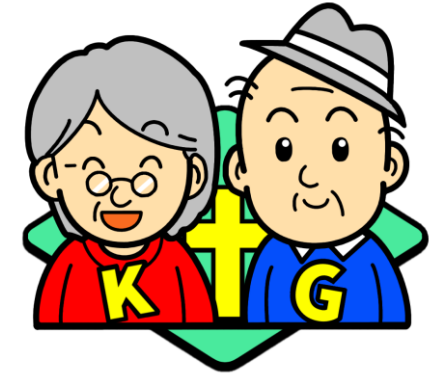
このような機会を用いて
川越市消防隊の訓練にも使用して頂きました。



2023年 跡地はケアハウス「主の園」の皆さんのための公園

「憩いの園」に整備されることになりました。





ご清聴
ありがとうございました。

多くの皆様のご支援に
感謝いたします。

社会福祉法人 キングス・ガーデン埼玉
川越キングス・ガーデン